

シンガポールにおける英語教育 —コースの選択と使用教科書—

広島大学 西 田 正

はじめに

21世紀はアジアの時代になると予想されている。経済の急激な発展で世界を驚かせ、豊かな自然で人を魅了するアジア。その中で高度成長のリーダーのシンガポールは、教育、とりわけ英語教育において特異な存在である。英語が民族の共通言語となり、その地域英語はSinglishと呼ばれている。本論はシンガポールの教育の基底にある能力主義に伴うコース編成がどのように英語の教科書の構成と内容に反映しているかを中心に考察する。

Ⅰ. シンガポールの言語・文化

シンガポールは中国系(77.7%)、マレー系(14.1%)、インド系(7.1%)、その他の民族(1.1%)から成る多民族国家である。標準中国語、英語、マレー語、タミール語が公用語である。国民全体の47.5%が二つ以上の公用語を識字でき(注1)、国民全体の65.5%が英語を、62.3%が標準中国語を、16.6%がマレー語を、3.6%がタミール語をそれぞれ識字できる。民族ごとの英語識字率は、中国系が62.2%、マレー系が73.8%、インド系が81.6%であり、マレー系とインド系の英語の識字率が高い。標準中国語の識字率は、当然ながら中国系が最も高く79.2%であり、マレー系が0.5%、インド系が1.1%である。マレー語の識字率はマレー系が95.7%、インド系が27.4%、中国系が1.5%である。タミール語の識字率は、インド系が50%、マレー系が0.1%である。

この民族と公用語の識字率の関係からも見てわかるように、シンガポールでは、各民族の公用語と言えども、それが完全に習得されているのではなく、英語との併用が見られる。特に、最近では英語が各民族の家庭に浸透する傾向にある。1980年から1990年までの10年間で、中国系の家庭では、標準中国語(13.1%から30.0%)と共に英語の使用率が約2倍(10.2%から21.4%)に増加している。ほとんどマレー語を使うマレー系の家庭(94.1%)でも英語の使用が増加しており(2.7%から5.7%)、また、従来から英語を使う割合が高かったインド系の家庭でも英語の使用が依然として高い(34.3%)。

Ⅱ. シンガポールの教育の特徴—能力主義とコース編成

多民族社会の教育の根幹を成すのは民族間の融合と国民としてのアイデンティティーの確立と維持である。シンガポールの場合も、各民族の文化と言語を尊重しながら、統一した教育体制を整えてシンガポール人としての国民意識を高めようとしている。初等教育(小学校6年)に始まり、中等教育(中学校4年～5年)、後期中等教育(短期大学/ポリテク2～3年)、そして高等教育(大学4年～6年)へと続く教育制度の中に複数のコースを準備して、能力の多様な学生を受け入れている(図1を参照)。人口が少なく、天然資源に恵まれず、狭い国土のシンガポールでは、教育の初期の段階から、修了テストや資格テストを実施して、児童や生徒の能力や適性を見極め、優秀な人材を確保せねばならない。特に優秀な児童や生徒は特別なコースに編入させて、シンガポールの将来を担うエリート集団を育成している。シンガポールの能力主義の徹底は小学校の5年生次のコース分

けに始まり、中学校段階でより実質的な能力別コース編成が導入される。1996年現在の各コースの在籍者の割合を見ると、小学校5年生の17.8%がEM1（英語と民族言語をともに第一言語レベルで学習する）コースを、73.4%がEM2（英語は第一言語レベルで民族言語は第二言語レベルで学習する）コースを、8.8%がEM3（英語は第一言語レベルで民族言語は会話のレベル）コースをそれぞれ選択している。また、小学校6年生では、EM3コースに在籍している児童の割合が5年生と比べて、2倍に増えており、他の2つのコースから離れ、最も学習が易しいEM3のコースに児童が移動していることがわかる。中学校では、1年から4年までの平均をとると、10%未満の生徒が最高レベルの特別（英語と民族言語をともに第一言語レベルで学習する）コースに、50%前後の生徒が急行（英語は第一言語レベルで民族言語は第二言語レベルで学習する）コースに、30%の生徒が普通・学術（英語は第一言語レベルで民族言語は第二言語レベルで学習する）コースに、11%が主として職業訓練を受ける普通（技術）コースに在籍している（表1を参照）。

シンガポールの社会は学歴社会である。教育の各段階での厳しい選抜試験に生き残った者が高額所得を得ていることから想像出来よう。大学卒業者の平均月収は中等教育卒業者の3倍（1シンガポールドルを80円に換算した場合約33万6千円）、初等教育卒業者の月収の4.6倍に相当する（統計局1993、p. 19）。学歴に連動したこのような経済的格差は当然ながら能力主義教育体制を助長している。シンガポールの就労者の平均収入を得るには少なくとも中等教育を卒業しなければならない。

III. シンガポールの英語教育

1) 英語教育の意味 民族の融合に言語は重要な要素である。シンガポールの教育では、各民族言語（標準中国語、マレー語、タミール語）と英語との二言語使用主義を採用している。しかし、各民族言語は教科としてまた、「道徳」を教える言語として一部使用されているが、1987年以降、英語が教育の媒体言語となって以来、英語の比重は大きくなった。英語が各民族にとって母語でないという意味で、英語がいずれかひとつの民族に有利であるとは言えない。各民族にとって英語の「困難度」が同程度であり、また英語の国際的有用性が高いため、教育言語に採用されたのは当然かもしれない。全国民の約80%が中国系であるから、標準中国語を教育の媒体にしてもよいように思われるが、そうすると、中国系住民に有利な社会が出来上がり、民族間に格差が生じるであろう。

英語が媒体言語として教育に浸透している。英語は第一言語の地位を持ち、ほとんど全ての教科の履修は英語で行われている。加えて、英語がシンガポール社会で重要な伝達的手段であり、経済活動に欠かせぬ言語である。そのため文部省も、情報化と国際化が進む今日の世界において英語の重要性が高まる中、国内外の他文化への理解とともに、変化する世界に即応する英語力を養成する必要性を強調している（文部省学習指導要領中等教育編1991、p. 1）。

2) 英語学習目標 小学校と中学校に共通した目標は、①話し言葉と書き言葉の両面において、学校と社会の要請を満たすことができるよう、日常場面で効果的にコミュニケーションができること、②他文化の文学を含んだ幅広い文章を理解し、楽しみ、鑑賞することができる正しい読書習慣を身に付けること、③想像豊かに、また、創作的に自己を表現する能力を伸ばすこと、④批判的かつ論理的な判断ができる思考技能を習得すること、⑤自己の学習目標を達成し、自己の学習の進捗を評価すること、⑥英語で教えられる他の教科を学習できるよう情報と学習の技能を習得すること、⑦さらなる学習課題と試験に効果的にかつ能率良く対応すること、⑧自己を改善し、自己の欲求や願いを満たすことができるよう知識を獲得すること、⑨建設的な意見と価値に対して積極的な態度を伸ばし、英語を使ってそれらを口頭と文字で伝えること、⑩英語の他の変種とそれが反映する文化について敏感に反応し、理解すること、である（文部省学習指導要領中等教育編1991、p. 7）。この10項目に及ぶ学習目標は、コミュニケーション、想像力豊かな自己表現、思考、知識の獲得や

意見の発表、などの手段として英語を駆使できる能力の養成、読書習慣の形成、他言語や文化への理解に大別できる。

3) コース選択と英語 小学校4年生までの成績と教師の助言や親の希望をもとに、小学5年生の児童は、民族言語の学習到達レベルに準じてEM1からEM3の3つのコースに振り分けられる。また、小学校卒業試験(PSLE)に合格した中学校生は、特別コース、急行コース、普通コースに編入される。普通コースはさらに、学術と技術のコースに分れ、修了するには5年と他のコースよりも1年多くかかる。

IV. コース別使用教科書

このようなコース編成に対してどのような教科書が用意されているであろうか。1997年現在、小学校で唯一使用されている検定教科書*Primary English Thematic Series*には、5年生用と6年生用にそれぞれ2種類ある。EM1とEM2のコースの児童が共通に使う教科書とEM3のコースの児童が使う教科書が別にある。中学校用教科書は*New Course in Learning and Using English* (以下*New CLUE*)を始め、6種類の教科書シリーズがコース別に作成されている(表2を参照)。ここでは、まず、小学校のコース別教科書を比較するためにその構成と内容を列挙する。

1) Primary English Thematic Series (PETS)

Course Book 5A/B (P5 EM1/EM2) Course Book 5A/B (P5 EM3)

Unit	topic	Unit	topic
1	Shipwrecks and Pirates	1	Shipwrecks and Pirates
2	What's My Line?	2	What's My Line?
3	Curtain Call	3	Into Space
4	Into Space	4	Inventors and Inventions
5	Inventors and Inventions	5	Don't Let Them Die
6	Keep Our Earth Green	6	Courageous People
7	Don't Let Them Die	7	Who's Afraid?
8	Courageous People	8	All in the Family
9	What's Afraid?	9	Front Page
10	All in the Family	10	Travels and Travellers
11	Front Page		
12	Travels and Travellers		
13	Unusual Characters		
14	Time		
page	216	page	141

Course Book 6A/B (P6 EM1/EM2) Course Book 6A/B (P6 EM3)

Unit	topic	Unit	topic
1	Enjoy Fiction	1	Enjoy Fiction
2	Words, Words, Words	2	Words, Words, Words
3	To Conquer and To Overcome	3	School and You
4	School and You	4	Computers in Our Lives
5	Computers in Our Lives	5	Special Events
6	Special Events	6	Sports and Games

7 Sports and Games	7 Circles and Cycles
8 Circles and Cycles	8 Music and Dance
9 Disasters and Emergencies	
10 Music and Dance	

page 192

page 140

5年生のEM1とEM2コース用の教科書は14の単元とトピックスから成り、総ページ数は216である。一方、EM3コース用教科書は10の単元とトピックスで出来ており、総ページ数は141である。6年生のEM1とEM2コースの教科書は10の単元とトピックスで構成されており、総ページ数は192である。EM3用は8の単元とトピックスから成り、総ページ数は140ページである。EM1とEM2コースの児童は2年間で408ページの教科書で学習し、EM3の児童は、127ページ薄い281ページの教科書を使用する。このような差はどのように言語材料に現れるであろうか。

両コースの教科書に共通する10のトピックスを扱う単元の一部を抜き出し、各unitのRead and Enjoy Fiction 部分の教材に見られる使用語彙数と文の数、1文当りの語彙数 (W/S)、及び読みやすさ (Flesch-Reading Ease Score)を比較した (5年生用教科書の一部を資料1に示した)。

Textbook	Unit No.	Words	Sentences	W/S	Readability
5A(EM1/EM2)	1	997	100	9.9	94.2
5A(EM3)	1	525	60	8.7	93.6
5A(EM1/EM2)	2	823	65	12.6	70.9
5A(EM3)	2	282	26	10.7	75.2
6B(EM1/EM2)	8	1655	123	13.4	90.1
6B(EM3)	7	1062	79	13.4	90.5
6B(EM1/EM2)	10	1389	130	10.6	91.1
6B(EM3)	8	606	42	14.4	74.0

調査した単元の内容を見る限り、読みやすさについては、6年生のEM3用教科書のスコアが74.0となったが、読みやすさの程度はすべてVery EasyかEasyのいずれかである。1文当りの語彙数はEM1とEM2の共通教科書がやや多い。最も大きな差は、使用されている単語の数である。EM1とEM2用ではEM3用の1.6倍から2.9倍の語彙が、同一トピックスに使われている。W/Sに大きな差がないが、語彙の面での読み物教材の簡易化がEM3コース用の教科書には見られる。

2) New CLUE

New CLUEの中学校1年生用教科書には、次のような構成を持つ特別 (S)・急行 (E)・普通 (学術) (NA)のコースが共有する教科書と普通 (技術) (NT) コース用の教科書がある。

New CLUE 1 (2nd Ed) S1 S/E/NA New CLUE 1A/B Normal (Technical) S1 NT

Theme 1 The World of Personal Relationships

Unit 1 Impressions

- 2 I Remember
- 3 Special People

Theme 2 The World of Nature

- 4 Animals in Danger
- 5 Animals in the Zoo

Unit 1 People

- 2 Family
- 3 Review

Theme 2 The World of the Community and the Nation

- 4 Changing Times
- 5 Taking a Break

6 Nature's Gifts	6 Review
Theme 3 The World of the Community and the Nation	Theme 3 The World of the Imagination
7 Changing Times	7 Is it your imagination?
8 A National Reacts	8 Mystery
9 Moving on	9 Review
Theme 4 The World of the Imagination and Nation	Theme 4 The World of Science and Technology
10 Into the Land of Fantasy	10 Inventions
11 Is Seeing Believing?	11 Robots
12 Spinning Tales	12 Review
Theme 5 The World of Science and Technology	Theme 5 The World of the Imagination
13 Inventions	13 Is it Magic?
14 Robots	14 Games and Adventure
15 Out of This World	15 Review
Theme 6 The World of Other People	Theme 6 The World of Personal Relationships
16 Games People Play	16 Learning Made Easy
17 Festivals	17 Remember not to Forget
18 Egypt	18 Review

page 280

page 182

いずれの教科書も、6つのテーマと12から18のサブテーマで構成されており、共通した4つのテーマを持っている。普通（技術）コース用教科書は、特別・急行・普通（学術）コース用教科書より総ページで約100ページ少ない。また、この教科書では各テーマの中に復習を独立させている。ここで同一のサブテーマを扱っている読み教材の部分を比較して検討する。

Textbook	Unit No.	Words	Sentences	W/S	Readability
NEW CLUE 1	7	451	22	20.5	66.1
NEW CLUE 1A	4	177	10	17.7	65.0
NEW CLUE 1	13	433	24	18.2	61.7
NEW CLUE 1B	10	291	16	13.6	74.7

3コースに共通な教科書は普通（技術）コースの教科書よりも、W/Sが高く、使用される語彙の数も2倍程度多くなっている。*New CLUE 1B*は一段と読み易くなっている。しかし、コース別教科書には、このような言語材料には現れないテーマの扱いの広さと深さの差があるようである。3コース共通の教科書には、テーマに関連する豊富な情報と練習問題を載せているが、技術コースの教科書は生徒のごく身近な情報を与えているだけである。このような教科書内容の質に関わる問題の検討は今後の課題である。

おわりに

シンガポールの教育の特徴を早期における選抜主義と考え、英語の教科書が内容と構成の上でこの能力主義にどのように対応しているかを現在小学校と中学校で使用されている教科書の一部を選んで調査した。小学校の段階でコース編成が導入されるシンガポールでは、学力とか適性の名のも

とで学習集団の均一化が進み、学校の序列化が見られる。文部省はインターネットのホームページで優秀な中学校を公表しているから、序列化は国の政策かもしれない。

本研究は平成8年度文部省科学補助金（国際学研究）による「アジアにおける地域文化の変容と教育制度・カリキュラム及び教材に関する総合研究」（代表者広島大学国際協力研究科村上誠教授）の一部である。平成8年9月14日から10月4日に至る期間シンガポールとマレーシアでの現地調査を行った。シンガポールでの資料収集にはRELCのEdwin Goh所長、文部省のSpecialist InspectorのMs Teow Ai Lanにお世話になり、感謝する次第である。

（注1）以下の統計はシンガポール国勢調査報告書1990年版による。識字力とはその言語で書かれた新聞を読んで理解できる能力と定義されている。

表1

Enrolment by Course in Primary and Secondary Schools (1996) (Male & Female)

Primary 5	EM1	EM2	EM3	Total	
	7561	31071	3706	42338	
	17.8%	73.4%	8.8%		
Primary 6	6744	28889	7301	42934	
	15.7%	67.3%	17.0%		
Secondary 1	Special	Express	Normal(A.)	Nornmal(T.)	Total
	3980	21292	8932	6684	40888
	9.7%	52.1%	21.8%	16.3%	
Secondary 2	4091	22311	10673	6693	43768
	9.3%	51.0%	24.4%	15.3%	
Secondary 3	3523	25554	16935	7383	53395
	6.7%	47.9%	31.7%	13.8%	
Secondary 4	2778	21257	12248		36283
	7.7%	58.6%	33.8%		
Secindary Total	14372	90414	59180	20760	184726
	7.8%	48.9%	32.0%	11.2%	

Education Statistics Section in the Information & Services Division, Ministry of Education, Singapore (1996) *Education Statistics Digest*.

表2

List of Approved Textbooks for Primary and Secondary Schools in Singapore

Primary English Thematic Series (PETS) EPB Publishers

Course Book 1A/B (P1) from 1992 Course Book 2A/B (P2) from 1992

Course Book 3A/B (P3) from 1993 Course Book 4A/B (P4) from 1994

Course Book 5A/B (P5 EM1/EM2) from 1995 Course Book 5A/B (P5 EM3) from 1995

Course Book 6A/B (P6 EM1/EM2) from 1996 Course Book 6A/B (P6 EM3) from 1996

New Course in Learning and Using English (New CLUE) Federal Publishers

New CLUE 1 (2nd Ed.) S1 S/E/N(A) from 1992

New CLUE 2 (2nd Ed.) S2 S/E/N(A) from 1993

New CLUE 3 Express (2nd Ed.) S3 S/E from 1994

New CLUE 3 Normal (Academic) (2nd Ed.) S3 N(A) from 1994

New CLUE Level 4 Normal (Academic) (2nd Ed.) S4 N(A) from 1995
 New CLUE 'O' Level 4 Express/5 Normal (Academic) (2nd Ed.) S4 S/E S5 N(A)
 New CLUE 1A/B Normal (Technical) S1 N(T) from 1994
 New CLUE 2A/B Normal (Technical) S2 N(T) from 1995
 New CLUE 3A/B Normal (Technical) S3 N(T) from 1996
 New CLUE 4A/B+ Normal (Technical) S4 N(T) from 1997
 Forte Longman
 Book 1 S1 E/N(A) from 1997-2001 Book 2 S2 E/N(A) from 1997-2001
 Book 3 S3 E from 1994-98 Book 4 S4 E from 1995-99
 New Expressway English Oxford University Press
 Book 1 S1 S/E from 1997-2001 Book 2 S2 S/E from 1993-97
 Book 3 S3 E from 1994-98 Book 4 S4 E from 1994-98
 TIES (Thematic & Integrated English Series) Shinglee Publishers
 Book 1 -4 S1-4 E from 1995-99
 Stepping Forward Pan Pacific Book1-3 S1-3 from 1996-2001
 New Blue Print for English Oxford University Press Book 1-4 S1-S4 N(A) from
 1994-2001

参考文献

- Curriculum Planning Division, Ministry of Education, Republic of Singapore (1991) *English Language Syllabus (Primary)*.
 _____ (1991) *English Language Syllabus Primary 5 and 6 (EM3 Stream)*.
 _____ (1991) *English Language Syllabus (Secondary)*.
 _____ (1996) *List of Approved Textbooks/Instructional Materials for Primary Schools Singapore 1997*.
 _____ (1996) *List of Approved Textbooks/Instructional Materials for Secondary Schools Singapore 1997*.
 Department of Statistics, Ministry of Trade & Industry, Republic of Singapore (1996) *Singapore, 1965-1995 Statistical Highlights: A Review of 30 Years' Development*.
 _____ (1993) *Singapore Census of Population 1990: Economic Characteristics*.
 _____ (1993) *Singapore Census of Population 1990: Literacy, Languages Spoken and Education*.
 Education Statistics Section in the Information & Services Division, Ministry of Education, Singapore (1996) *Education Statistics Digest*.
 綾部恒雄・石井米雄 (編) (1994) 『もっと知りたいシンガポール』 (2版) 弘文堂
 大原始子 (1997) 『シンガポールの社会と言葉—多言語社会における言語政策』 三元社
 田村慶子 (1993) 『「頭脳国家」シンガポール—超管理の彼方に』 講談社

図1 シンガポールの教育制度の概略

大学 (4~6年間)				
GCE 'A' レベル 試験	ポリテクニッ ク (2~3年間)	技術教育 研修所 (2~3年間)	GCE 'O' レベル試験	
短期大学 (2 年間)			普通 コー ス 5 年目	職 場 実 習
GCE 'O'レベル試験			GCE 'N' レベル試験	
特別コース (4年間)	急行コース (4年間)	普通コース 学術・技能 (4年間)		
小学校卒業試験				
EM1コース (2年間)	EM2コース (2年間)	EM3コース (2年間)		
小学校基礎段階 (4年間)				

資料1

PETS 5A (EM1/EM2) Unit 2 Mozart: A Brief Biography

Mozart was a music genius and a child prodigy. He had an extraordinary talent for music which showed itself when he was very young. By the time he was six, he had started a lifetime of touring and playing to audiences all over Europe.

Wolfgang Amadeus Mozart was born in the city of Salzburg in Austria on 27 January 1756. He had a sister, who was four years older, called Maria Ann Mozart. She was nicknamed 'Nannerl'

Mozart's father was a talented violinist and composer. Although he was very busy, he made time to teach his children music. When Nannerl was about four years old, she had lessons on the harpsichord, which was an early kind of piano. (p.26)

PETS 5A (EM3) Unit 2 Mozart: A Brief Biography

Mozart was a music genius. He had an extraordinary talent for music.

Wolfgang Amadeus Mozart was born in Austria on 27 January 1756. He had a sister, who was four years older, called Nannerl.

Mozart's father taught his children music. When Nannerl was about four years old, she had lessons on the harpsichord, which was an early kind of piano. (p.16)